

令和5年度

## 聴講生の皆さんから寄せられた 感想の一部を紹介します

### ☆☆小学校で聴講された皆さんの感想☆☆

奥川さん

(女性 高雄小学校で3年生の音楽、4年生の外国語活動を受講)

早いもので、もう一年が過ぎようとしています。昨年は小学3年生、今年は小学4年生の英語活動に参加させていただいています。今は会話中心の授業になっていますが、テキストを見ないと、なかなか英語で話す事は難しく、ついつい構えてしまいます。常日頃から、英会話に親しんでいないと、なかなか難しいと感じました。その点、今の小学生たちは発音もよく、すんなりと会話もできるので、毎回感心することしきりです。何事も楽しんで学んでいくことが大事だと思いました。

本年度は少し欲張って小学3年生の音楽も受けさせていただくことにしました。理由は、朝起きたときに指がこわばっていると感じたため、リコーダーが小学3年生から始まると聞き、リコーダーで指を使えば多少なりとも改善されるかもしれないと思い、受けることにしました。それで、音楽の授業は毎回楽しく受けることができました。聞いたことがある曲がほとんどですが、リコーダーで吹くことができると、また違う楽しさがあります。やはり音楽でも子どもたちは覚えるのが早く、授業中「聞いているのかな？」と思った子さえも、ちゃんと吹くことができるので、ここでも感心してしまいました。

来年はもう一年進級して、小学5年生の英語活動を選択しようと考えています。あまり難しく考えないようにして、挑戦してみようと思います。授業は楽しくなければ続けられないですから。

## 梅田さん（男性 扶桑東小学校で5年生の図画工作を受講）

自動車免許証認知症検査で不合格、なんとか現状維持できないかと思って聴講生となりました。科目は図工、先生（トレーナー）はプロです。「おじいちゃんが入学してきました。皆さんと同じ生徒です。一緒に勉強しましょう。皆さんが先輩です。教えてあげてください。」と紹介あり。

本年は「大造じいさんとガン」の悲しい物語の感想画と、「鏡にうつる形を想像しながら楽しい世界を作ろう」のテーマで授業を受ける。下絵はどう描く？銀紙はどう建てる？「鏡の変わり」を想像しても形にならない。友達の作品を見ながらまずはやってみようと思い、まあまあ満足の作品になりました。穴があるとのぞきたくなるような好奇心が必要だと思います。

新しい世界を見る心、考える心、絶好の場所だと思います。自由な発想や見方はいろいろ、表があれば裏もある。上から下から、よりよい自分への憧れをもち、成長を続ける。まずはバッテリーボックスに立って見る。それから考えても遅くはないと思います。

与えられた命、楽しく、嬉しき、生きようではありませんか。感謝の気持ちをもって、ありがとう、ありがとう。

## ☆☆中学校で聴講された皆さんの感想☆☆

### 清水さん（女性 扶桑北中学校で3年生の英語を受講）

扶桑北中学校で、昨年度は2年2組で英語の聴講、今年度（2023年度）は3年1組で英語の聴講を受けました。英語の授業は1週間に4回でしたが、単発の仕事が1週間に1回程度入り、残念ですがやむなくお休みしました。

英語の授業はベーシッククラスとスタンダードクラスに分かれての授業で、私は自身の英語レベルに合わせて、もちろんベーシッククラスを希望しました。リスニングがさっぱりできない状態でしたが、時々、聞きとれる単語があると嬉しかったです。先生が準備された單元ごとのプリントでは、「英語文を見て話す」「日本語と見比べながら、順不同の英単語を並べ替えて英語で話す」「穴あけ英語文で日本語を見て完成させて、英語で話す」「日本語を聞いて（または日本語を見て）英語で話す」があり、英語で話すことができる英語教育の大切さを痛感しました。

1年間に数回、チョ先生（外国人の先生）にタブレットを使って、単元で勉強した文法を使いながら、テーマに沿って発表する機会がありました。「どんなことを話そうか？」「単元で勉強した英語の文法の使い方は合っているのか？」等、発表に向けた準備が楽しかったです。2人でペアになり、何度かベーシッククラスで練習もあり、ペアの生徒さんにアドバイスをもらったり、私もアドバイスをしたりなどの交流もできました。確か1回目の発表の時でしたが、私はタブレットがないので隣のSさんが貸してくれて、使い方が曖昧な私のために発表する部屋の前まで付き添い、「ここを押せばいいから」と丁寧に教えてくれました。終わって廊下に出ると、教室の前でSさんが心配して待っていてくれました。中学3年生なら思春期まっさかりで他人に親切にすることもためらう年齢だと思いついていましたが、他人への思いやりが自然にできるSさんの行動に「なんて素晴らしい！！」と思いましたし、思いやりを大切にしている校風が後押ししていると感じました。聴講の最終日にはベーシッククラスメンバーから寄せ書きをいただき、大切な宝物になりました。

「英語で聴く・話す」は私自身には厚い壁でしたが、さぼりたいと思ったことはなく、英語の授業に出かけることが本当に楽しく、2年間の聴講は生涯の中でも素敵な思い出となりました。2年間教えていただいたお二人の先生方、3年生生徒さんのご指導でお忙しい中、聴講を受け入れていただきありがとうございます。校長先生、卒業式への出席を許可していただき、3年生の皆さんと一緒に卒業でき、感謝申し上げます。

仲間として受け入れてくれた生徒さんのこれからの幸多かれ！！